

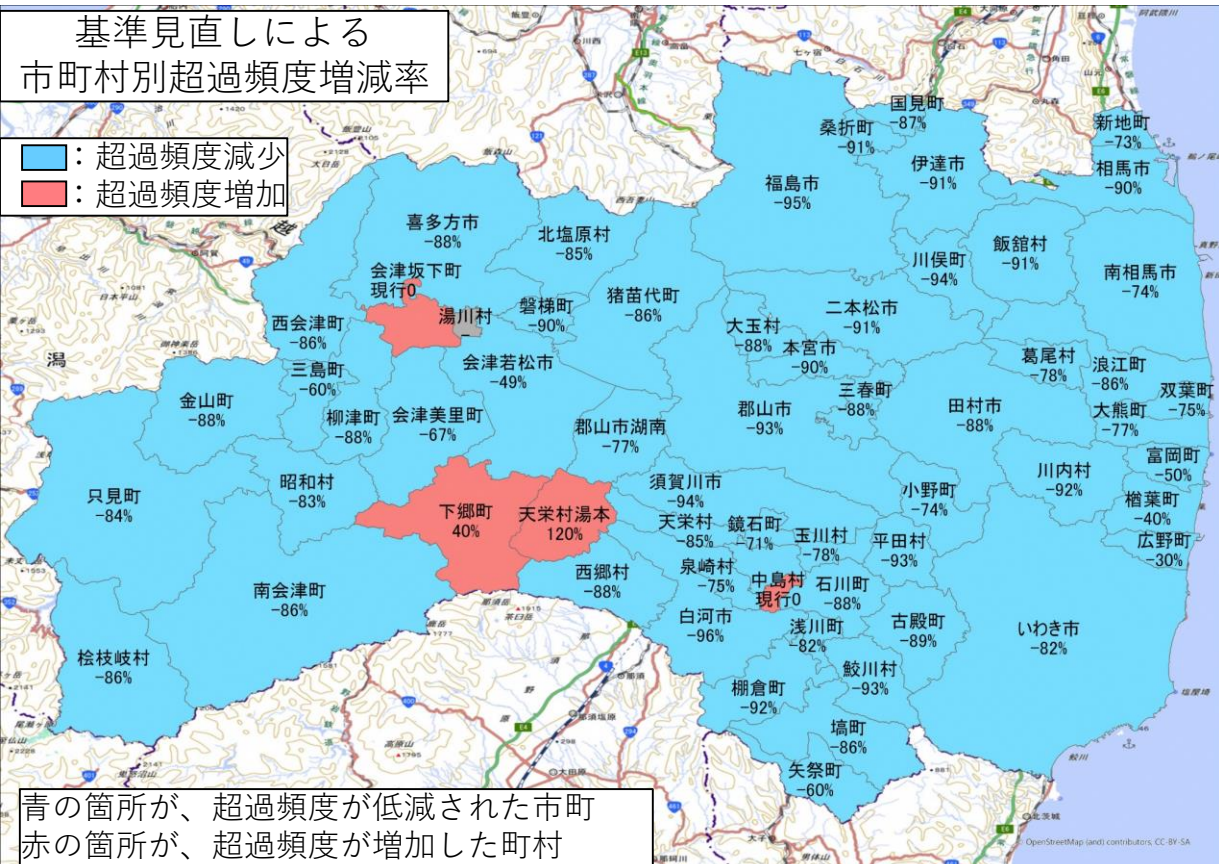
検討会での土砂災害警戒情報の見直し結果について

発表基準の見直し結果

以下の図は現行基準と新基準の超過頻度※1の増減率を表したものである。
58市町村※2のうち54市町村で超過頻度の減少が見られ、全県平均値も約82%減少した。
 超過頻度が増加した4町村は、実際の降雨経験に基づいた基準の設定や、災害実績を捕捉するために基準を引き下げたことで、災害見逃しのリスクについて低減が図られた。
超過頻度が低減されたことや、災害見逃しのリスクについて低減が図られたことより、土砂災害警戒情報の精度が向上した。

基準見直しによる市町村別超過頻度増減率

■ 超過頻度減少
 ■ 超過頻度増加



※1 超過頻度とは、過去（2006年4月～2021年12月）の降雨で、土砂災害警戒情報の発表基準を年間平均で何回超過したかを示す頻度。
 ※2 土砂災害警戒情報の発表対象となっていない湯川村を除く県内の市町村
 ※3 会津坂下町と中島村、下郷町は現行では降雨経験を考慮せず、基準を設定していた。中でも会津坂下町と中島村では降雨を経験していない領域に基準を設定していた。今回の見直しでは実際の降雨をもとに見逃しの無いよう基準を設定したため基準の超過が増加したものである
 なお、現行基準超過0の場合は増減率算出不可となる
 会津坂下町 超過頻度 0.19回/年増加
 中島村 超過頻度 0.13回/年増加
 ※4 天栄村湯本では災害実績を捕捉できる基準に見直したため、超過頻度が増加したものである。

青の箇所が、超過頻度が低減された市町村
 赤の箇所が、超過頻度が増加した町村

検討会での土砂災害警戒情報の見直し結果について

市町村毎の現行基準と新基準の超過頻度一覧

市町村名	現行基準 超過頻度 (年/回)	新基準 超過頻度 (年/回)	市町村名	現行基準 超過頻度 (年/回)	新基準 超過頻度 (年/回)	市町村名	現行基準 超過頻度 (年/回)	新基準 超過頻度 (年/回)	市町村名	現行基準 超過頻度 (年/回)	新基準 超過頻度 (年/回)
福島市	5.7	0.3	川俣町	2.2	0.1	三島町	0.3	0.1	古殿町	1.8	0.2
会津若松市	0.8	0.4	大玉村	2.0	0.3	金山町	1.1	0.1	三春町	1.6	0.2
郡山市	5.2	0.4	鏡石町	0.4	0.1	昭和村	0.8	0.1	小野町	2.4	0.6
郡山市湖南	0.8	0.2	天栄村	0.8	0.1	会津美里町	0.8	0.3	広野町	0.6	0.4
いわき市	7.6	1.4	天栄村湯本	0.3	0.7	西郷村	1.1	0.1	檜葉町	0.3	0.2
白河市	3.1	0.1	下郷町	0.3	0.4	泉崎村	0.3	0.1	富岡町	0.3	0.1
須賀川市	2.1	0.1	檜枝岐村	0.9	0.1	中島村	0.0	0.1	川内村	2.4	0.2
喜多方市	5.0	0.6	只見町	1.2	0.2	矢吹町	0.3	0.1	大熊町	0.8	0.2
相馬市	1.3	0.1	南会津町	1.8	0.3	棚倉町	1.6	0.1	双葉町	0.3	0.1
二本松市	4.7	0.4	北塩原村	3.8	0.6	矢祭町	0.3	0.1	浪江町	1.4	0.2
田村市	4.7	0.6	西会津町	3.6	0.5	塙町	1.8	0.3	葛尾村	0.6	0.1
南相馬市	1.7	0.4	磐梯町	1.8	0.2	鮫川村	2.6	0.2	新地町	0.9	0.3
伊達市	3.3	0.3	猪苗代町	5.2	0.8	石川町	1.1	0.1	飯舘村	2.1	0.2
本宮市	1.9	0.2	会津坂下町	0.0	0.2	玉川村	0.6	0.1			
桑折町	1.4	0.1	湯川村	-	-	平田村	1.9	0.1			
国見町	0.9	0.1	柳津町	1.6	0.2	浅川町	0.7	0.1			